

1月17日

第6回 比較防災学ワークショップ

6th Workshop for "Comparative Study on Urban Earthquake Disaster Management"

みんなで防災の知恵を共有しよう



HURRICANE KATRINA: IMPACTS, RESPONSE AND EARLY LESSONS LEARNED

「ハリケーン・カトリーナの衝撃と教訓」

- 10:00 - 10:25** Welcoming and Introductory Remarks / 開会にあたって
Haruo Hayashi, Ph.D. - Director and Professor, Research Center for Disaster Reduction Systems, Disaster Prevention Research Institute, Kyoto University/
林 春男 (京都大学防災研究所巨大災害研究センター長・教授)
- 10:25 - 10:50** "Hurricane Katrina: The Anatomy of a Catastrophe" / ハリケーン・カトリーナ：大災害の実像を解き明かす
Bruce P. Baird - Visiting Professor, Research Center for Disaster Reduction Systems, Disaster Prevention Research Institute, Kyoto University /
ブルース・ベアード (京都大学防災研究所巨大災害研究センター客員教授)
- 10:55 - 11:20** "FEMA's Response in Mississippi: My Experience as Federal Coordinating Officer" / ミシシッピ州におけるFEMAの災害対応：連邦政府連携災害対応職員としての体験から
William L. Carwile, III - Adjunct Professor, Naval Postgraduate School, Monterey, California/
ウィリアム・カーワイル (ネイヴァル大学院大学準教授)
- 11:25 - 11:50** "What Lessons Can We Learn from Hurricane Katrina? A FEMA Staff Member's Personal View" (in Japanese) / FEMA本部の災害対応：私的見解 (日本語)
Leo Bosner, Emergency Management Specialist, FEMA National Office, Washington, D.C. /
リオ・ボスナー (FEMA危機管理専門官)
- 11:50 - 12:00** Question and Answer Session / 質疑応答
- 12:00** 昼食休憩 / Lunch
- 13:30** シンポジウム「ハリケーン・カトリーナ現地調査報告」
- 13:30-** 「どのように被害が起きたのか～情報複合災害の発生～」河田恵昭 (京都大学防災研究所)
- 13:40-** 「連邦政府の一連の災害対応の現状と課題」
1) ポリシーグループの調査の概要：田中聡 (富士常葉大学環境防災学部)
2) ハリケーン・カトリーナにおける初動対応について：丸山直紀 (内閣府)
3) 今回の災害の教訓 (自治体の対応への教訓)：田辺康彦 (総務省消防庁防災課)
4) ハリケーン・カトリーナへの対応の教訓と資源動員：西川智 (内閣府)
- 14:20-** 「被災者に対する一連の災害対応の現状と課題」
1) Evacuation, Shelter Management and Temporary Housingについて学んだことの総括：田村圭子 (京都大学防災研究所)
2) ハザードの専門家から見たハリケーンカトリーナの被害の特徴：福濱方哉 (国土交通省国土技術政策総合研究所)
3) 大量の避難者をどのように避難させたのか：近藤伸也 (人と防災未来センター)
- 15:10-** (休憩)
- 15:25-** 「復興 = 持続的都市 の視点からみたカトリーナ災害報告」
1) 都市機能の継続性：復旧・復興プロセスと政策：馬場美智子 (地震防災フロンティア研究センター)
2) 医療面での対応、主に医療施設からみて：原口義座 (国立病院機構災害医療センター)
3) カトリーナ災害に学ぶ持続都市課題：岩崎敬 (多摩大学情報社会学研究所)
- 16:15-** 総合討論
コーディネーター：林 春男 (京都大学防災研究所)
パネリスト：午前、午後の部の発表者
- 17:00** 終了

京都大学防災研究所巨大災害研究センター (DRS)

東京大学生産技術研究所・都市基盤安全工学国際研究センター (ICUS)

京都大学防災研究所21世紀COEプログラム

文部科学省大都市大震災軽減化特別プロジェクト -3

文部科学省科学研究費補助金平成17年度特別研究促進費「ハリケーン「カトリーナ」を契機として発生した広域災害に対する社会対応に関する総合的な検討」

(財)関西エネルギー・リサイクル科学研究振興財団(KRF)

後援：日本自然災害学会・日本災害情報学会・地域安全学会

2006.1/17~18

神戸国際展示場 3階 3A会議室

神戸市中央区港島中町6-11-1 TEL: 078-303-0029

1月18日

第6回 比較防災学ワークショップ

6th Workshop for "Comparative Study on Urban Earthquake Disaster Management"

みんなで防災の知恵を共有しよう



既存不適格建物の耐震化を飛躍的に進めるために「耐震化をとりまく環境の国際比較と具体的な活動」

10:00	挨拶・趣旨説明	東京大学生産技術研究所	目黒公郎
10:05	国内外の脆弱建物を取り巻く環境	東京大学生産技術研究所	目黒公郎
10:35	米国ではどのようにして建物の耐震化を進めているか？	東京大学生産技術研究所	吉村美保
10:55	建物の耐震性能はどのようにして理解すればよいか	山口大学	村上ひとみ
11:15	コミュニティの力により耐震化を推進するには？	東京いのちのポータルサイト	藤村望洋
11:35	総合討論		
12:00	閉会の挨拶		
12:10	終了		
13:30-	「災害対応研究会」公開シンポジウム へ 「リ災証明発行の効率化をめざして」		
13:30	挨拶		
13:35- 15:35	講演・実習		
13:35-	小千谷市でのリ災証明発行支援が持つ意味	富士常葉大学	田中 聡
13:55-	チャート式建物被害判定法	地震防災フロンティア研究センター	堀江 啓
14:35-	PDAによる現場入力システム	京都大学防災研究所	浦川 豪
14:55-	GISを用いたデータベース構築	京都大学防災研究所	ポール吉富
15:15-	リ災証明発給業務のサービスマネジメント	富士常葉大学	高島 正典
15:35-	(休憩)		
15:45- 17:00	パネルディスカッション 残された課題		
	モデレータ：富士常葉大学 重川希志依		
	パネリスト：		
	「リ災証明から被災者生活再建支援法関係」	内閣府政策統括官(防災担当)付参事官(災害復旧・復興担当)付	松井 康治
	「災害救助法(住宅の応急修理)」	厚生労働省社会・援護局総務課災害救助・救援対策室 室長補佐	佐々木 薫
	「生活再建支援 - 被災者支援制度の検証 - 」	小千谷市建設課都市計画係 主査	渡辺 英明 長岡市復興推進室 総括主査 横山 幸信
17:00	終了		

京都大学防災研究所巨大災害研究センター(DRS)

東京大学生産技術研究所・都市基盤安全工学国際研究センター(ICUS)

京都大学防災研究所21世紀COEプログラム

文部科学省大都市大震災軽減化特別プロジェクト-3

文部科学省科学研究費補助金平成17年度特別研究促進費「ハリケーン「カトリーナ」を契機として発生した広域災害に対する社会対応に関する総合的な検討」

(財)関西エネルギー・リサイクル科学研究振興財団(KRF)

後援：日本自然災害学会・日本災害情報学会・地域安全学会

2006.1/17~18

神戸国際展示場 3階 3A会議室

神戸市中央区港島中町6-11-1 TEL: 078-303-0029